

商店街で沸騰する『消費税増税』反対の圧倒的な声

多くの方が消費税の増税されたら大変と言います。一番しわ寄せされるのは、消費の最前線に立っている小売店の皆さんです。そこで、鳥取・大田・星が浦大通の商店を2日間、一軒一軒訪ねて、消費税に関する党の提言を渡し、増税反対の署名をお願いして回りました。そこでの会話を紹介します。



に庶民の心に入ってくるころはあやね。共産党もそのくらいやらなきや。貧乏人の味方なんだから。

私らのような小さなお店の時代はもう終わったんじゃないでしょうか。お客さんもさっぱりで、みんな大型店に行ってしまう。消費税だつて、お客さんからは全然もらえませんが、その分貰おうとすれば、うちの店には来ないよ。これで10%になつたら、売上は増えないのに、税金だけは倍になるんだから・・・。

消費税の増税は将来はしかたないと思うけど、今回の増税には賛成できない。消費税をあげて福祉に使うと言っているが、具体的にこれこれに使うとはさっぱり言っていない。これでは信用できない。共産党はもっと頑張らないと。前はもつと目に見えていたけど、この頃はあんまりしつくり来ないんだよね。維新の会はとんでもないことを言っているけど、いまの閉塞感のなかでは、確か



業者は年度末になつたら、借金をして消費税を払っているんですよ。正直言うと。税務署は消費税は預かり金だからなくなるはずないって言うけど、もともと転嫁できないし、毎日の資金繰りだつてあるんですから。転嫁できるのは原料の大型メーカーだけ。卸売りになると、利益を上げせしめからいけないから四苦八苦している。そして、私たちのような小売まで来ると、全く転嫁なんて出来ないんですから。金融機関に年度末に借金に行くんだけど、「税金が払えなくて」と言うのと、絶対に貸してくれないんです。「運転資金が必要で」と言うのと、向こうも「あつ、消費税が払えないんだな」とぴんと来るんですね。それにしても、消費税の税務署の取立ては厳しくて、厳しくて。税務署だつて実態は知っているはずなんだけどね。



今回、消費税があがったら、多分かなりの小売店が廃業を考えるといます。今だつていっぱい、いっぱいだがんばつていっているのに。これ以上がたつたら、経営が大変とか言うんじゃないかと、なにが商売をやる気持ちみたいなのが、急に萎えちゃうと思ふんですよ。跡取りがいるわけでもないんだから。「これでやめよう」と「みたいなき感じになって、商店街はおしまいですよ。」

若い経営者の方でしたが、若いぶん話が弾んだ方がいました。「消費税を上げると企業は苦しくなつて、正社員は非正規に、あるいは首切りとどんどん人減らしに走る。それでなくても、若い人は仕事がないのに、どんどん失業者が増える。失業しないまでも、賃金はどんどん下げられる。聞いた所では、最賃は生活保護基準を下回っているというじゃありませんか。買います、若い人の生活が大変になります。そうすると、どうでしょう。買い控えもする。企業は物が売れずに困る。年金の方だつて、大半は年金が安くて困っている。結局、消費税増税は悪循環じゃありませんか。」



消費税をあげても、大半が過去の借金の穴埋めに使われるって本当なんですか。第一を削れば増税しなくていいと言っていたのに、ムダはそのままでしょ。それなのに、私たちには増税なんです。しかも、こんなにムダづかいばかりなら、これまでの穴埋めだけじゃなくて、これからは福祉には回らず、勝手に使われてしまうんじゃないでしょうか。

一年間お世話になりました
東日本大震災の大津波で自宅が全壊し、私の家に仮住まいしていた両親が、被災地で市営住宅の募集に当り、3月末に、岩手県陸前高田市に引っ越ししました。被災地の復興はまだ進んでいませんが、親戚や古くからの友人に歓迎され、新たな生活を始めました。阿寒町に住んでいた一年間、みなさんには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

最初は少し無愛想な方だと思つて話していたんですが、話していくほどに打ち解けてきて・・・。「消費税10%といつたら、1千万円あれば消費税は百万円。喜ぶやつなんか絶対ない。しかもこいつら写党は、消費税上げないって言うてたんだろ。」最後にこの方は、「共産党には入れないけど、署名はいいよ」と署名に協力してくれました。



2012年 4月29日号
消費税
村上かずしげ 通信

発行 共産党市議団 23-5212

